



2023年3月16日

各位

会社名 株式会社 エニグモ
代表者名 代表取締役 須田 将啓
最高経営責任者
(コード番号：3665 東証プライム市場)
問い合わせ先 取締役 金田 洋一
コーポレートオペレーション本部長
TEL. 050-1741-2223

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年1月期の個別業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年1月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) 2022年1月期	百万円 7,616	百万円 2,971	百万円 2,979	百万円 2,055	円 銭
当期実績 (B) 2023年1月期	6,868	1,136	1,143	712	17.48
増減 (B-A)	△747	△1,834	△1,835	△1,342	—
増減率 (%)	△9.8%	△61.7%	△61.6%	△65.3%	—

(注) 当社は当事業年度月の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当期実績は当該会計基準等適用後の数値となっております。

2. 差異の理由

当事業年度におきましては、消費マインドの本格的回復が見られない中、ファッション関連のEC&ラグジュアリー市場は、急速な円安の進行と海外でのインフレによる出品価格上昇の影響、加えて長引くロシア・ウクライナ情勢の影響による原油価格の高騰による配送費の増加などにより、ライトユーザーを中心に買い控えが続き、当社の運営するBUYMAでも同様に総取扱高が苦戦し減収となりました。

また、当社は2023年1月期以降の数年は、確かな価値に基づく高い成長を目指すための転換点と位置づけ、当社の強みである強固な財務基盤と安定した収益基盤を生かし、営業利益は黒字を前提としながらも、短期的には減益を許容し、さまざまな投資を事業環境や事業進捗に応じ、機動的かつ柔軟に実行していく方針としております。当該方針に基づくヒトとモノの両面からの投資強化、課題としている良質な認知の獲得を目的としたマスキャンペーン等の広告投資を、継続的かつ戦略的に進めていることにより、減益となりました。

なお、当社は当事業年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、主に売上高及び販売促進費において、同基準適用前の数値との比較において差異が発生しております。2022年1月期の実績値を同基準で適用し遡及修正した場合の比較は、下記の通りです。

(遡求修正後の比較)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) 2022年1月期	百万円 7,439	百万円 2,977	百万円 2,985	百万円 2,059	円 銭
当期実績 (B) 2023年1月期	6,868	1,136	1,143	712	17.48
増 減 (B-A)	△570	△1,840	△1,842	△1,346	—
増 減 率 (%)	△7.7%	△61.8%	△61.7%	△65.4%	—

以 上